



つるの こうゆう  
霍野 廣由 さん

「いのちを想う」  
啓発パレードの発起人



NPO法人京都自死・自殺相談センター副代表を務める福岡県上毛町・覚園寺かくえんじ衆徒。

3月1日に「Life Walk～いのちを想う宗教者の行進」を行った、「京都いのちの日」宗教者プロジェクト実行委員会の代表。

「私たち宗教者は、自死の苦悩を抱えた方と接する機会が多く、私たちの言葉や振る舞いでその方の苦悩を和らげることもできる。しかし、宗教者の偏った考えでひどく傷つけられた方もおられる。この事実をしっかりと受け止め、苦悩する人に、考えを押しつけるのではなく、慈しみのまなざしを向けていることを積極的に社会に発信していきたい」と話す。

「宗教・宗派を超えて、いのちを想う、取り組みを継続したい。そして、いのちに向きあう想いを共有し、自死の苦悩を抱えた方やご遺族に寄り添う気持ちを育んでいきたい」と話す。29歳。(2面に記事)